

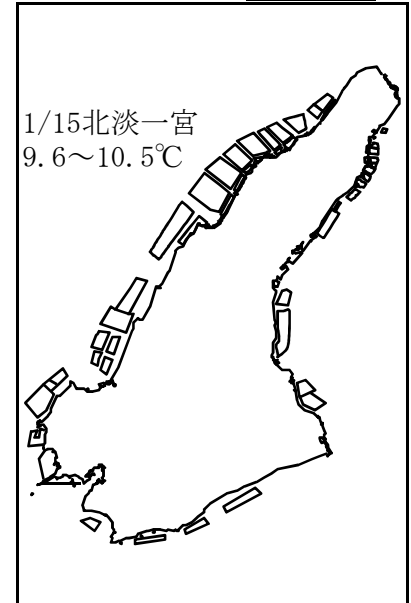
# 兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 10号)

平成30年 1月16日発行  
兵庫のり研究所

淡路周辺海域全般に栄養塩を消費する植物プランクトンの発生量は少ない状況です。窒素は4~7  $\mu\text{g at} / \text{L}$ を示しており、全域において平年より高い値となっています。

(珪藻) 播磨灘に面する漁場では、肉眼視(淡黄色の綿埃状)できるキートセロスの一種が確認される程度であり、それ以外の珪藻はほとんど見られず、窒素は概ね4~5  $\mu\text{g at} / \text{L}$ で推移している。大阪湾に面する漁場では窒素は概ね6~7  $\mu\text{g at} / \text{L}$ であった。  
昨日(1/15)採水の神戸地先のサンプルにおいて、窒素は概ね25~30  $\mu\text{g at} / \text{L}$ あるが小型珪藻のキートセロスとスケルトネマが多く確認された。東浦北部海域のサンプルでも、これらの珪藻が今のところ散見される程度であるが見られ始めている。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	5.4	6.3	4.9	5.5
	リン	0.52	0.53	0.52	0.58
西浦地先	窒素	5.5	5.2	4.1	3.9
	リン	0.54	0.54	0.52	0.52
南浦地先	窒素	5.1	5.7	4.6	5.3
	リン	0.58	0.58	0.51	0.56

(1/5)

(1/16)

栄養塩(窒素) 図

平成30年 1月16日調査

